

東京都脳卒中救急搬送体制 実態調査（第2回）報告書

平成 25 年 3 月

 東京都福祉保健局

はじめに

脳卒中は日本人の死亡原因の第4位、要介護となる要因の第1位を占めており、発症後の迅速・適切な早期治療が救命及び後遺障害の軽減に不可欠です。

東京都ではこれまで、より一層の救命や後遺症の軽減を図るため、東京都独自の認定基準による東京都脳卒中急性期医療機関を認定するなど脳卒中発症後の患者さんを速やかに適切な急性期医療機関に救急搬送できる仕組みの構築に取り組んできました。また、平成22年2月には、その運用状況や課題を把握し、脳卒中を発症した患者さんの救急搬送と急性期医療の充実に向けた検討を行っていくため、「東京都脳卒中救急搬送体制実態調査」を実施し、報告書にまとめました。その結果、脳卒中の疑いありと判断された患者さんが、脳卒中急性期医療機関等におおむね適切に搬送されていることなどが明らかになっています。

このたび、現行の搬送体制の再評価を行うことなどを目的として、平成24年2月の1週間に救急搬送された全事案を対象に「東京都脳卒中救急搬送体制実態調査（第2回）」を実施し、調査結果を報告書としてまとめました。

本報告書が脳卒中の救急搬送体制を充実させていく基礎資料として、活用されることを願います。

最後に、本調査にご協力いただきました都内医療機関、東京消防庁、東京都医師会等、関係各位に心から御礼申し上げます。

平成25年3月

東京都脳卒中医療連携協議会

会長 有賀 徹

目次

第1章 東京都脳卒中救急搬送体制の概要	
.....	3
第2章 東京都脳卒中救急搬送体制実態調査の概要	
1. 調査の目的.....	7
2. 調査対象及び調査期間.....	7
3. 回答状況.....	8
第3章 脳卒中と診断された患者	
1. 性別・年齢.....	15
2. 病型別の割合.....	20
第4章 東京都脳卒中救急搬送体制	
1. 搬送時間.....	25
2. 医療機関選定.....	41
3. 中等症以下の脳卒中疑い例の応需.....	45
4. 二次保健医療圏外への流出に関する検討.....	46
5. 救急隊の脳卒中判断.....	47

目次

第5章 診断と治療

1. 脳卒中の診断……………65
2. 治療……………67
3. 脳卒中患者の外来転帰……………73
4. 脳卒中患者の入院1週間後の転帰……………74

第6章 まとめ

- ……………77

第7章 資料編

1. 東京都脳卒中救急搬送体制……………83
2. 東京都脳卒中医療連携協議会……………94
3. 東京都における普及啓発事業……………100
4. 東京都脳卒中地域連携診療計画書……………102